

学校自己評価 保護者アンケート結果

師走の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のことと拝察申し上げます。

さて、11月にご協力いただきました「学校評価アンケート」の結果がまとまりましたので、下記のようにご報告いたします。この結果を受け、さらによりよい学校づくりのために努力をしていきたいと思っております。

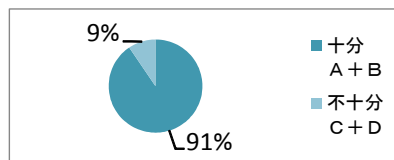
なお、「真田中の教育活動へのご意見」に、保護者の皆様より、大切なご指摘や感謝の言葉をいただきました。ご意見に対する返答は、学校通信（NO.8）に掲載する予定です。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

記

I 実施方法 ○アンケート対象 真田中学校保護者 ○実施日 平成30年11月8日配布

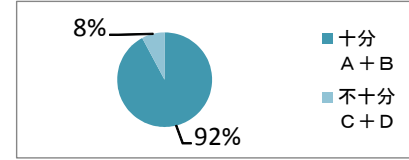
II 結果と考察（数字は家庭数）

①学校からのお知らせや通信等の内容は、適切ですか。



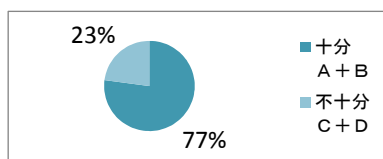
〔考察〕家庭への連絡等は適切になされていると考えられるが、様子がわからない、もっと知りたいというご意見も見られた。学級通信や学校だより等の活用とともに、確実に家庭に届くように働きかけたい。

②お子さんは、いきいきと学校生活を送っていますか。



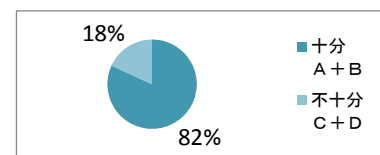
〔考察〕大部分の生徒はいきいきと学校生活を送れているが、満足出来ない生活をしている生徒も見られる。個々の様子を注意深く見て、楽しい学校生活を送れるよう支援したい。

③お子さんは、学習内容を理解しようと意欲的に学習に参加していますか。

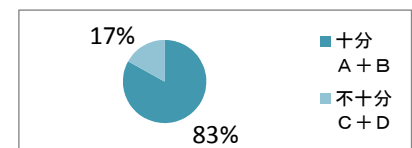


〔考察〕ここ2年で、「十分」の値が少しずつ下がっている。継続的で温かい言葉がけやつまずきに対する丁寧な支援をし、意欲的に学習する姿勢作りに努めたい。

④職員は「伝え合う」ことを大切にした学習指導の工夫をしていますか。

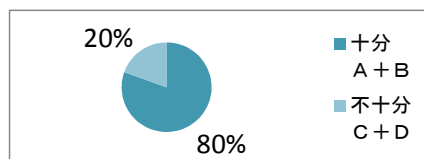


⑤職員はお子さんの学習を適切に支援し評価していますか。



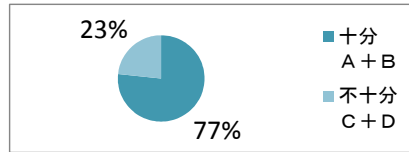
〔考察〕昨年度と比べると、④、⑤とも「十分」の値がやや下がっている。授業改善を進めるための重点的な取組である「授業のねらいの明確化」「学び合いの場の設定」「振り返りの場の設定」について共通の意識をもち、指導を継続したい。

⑥ご家庭で家庭学習ができる環境を作っていますか。



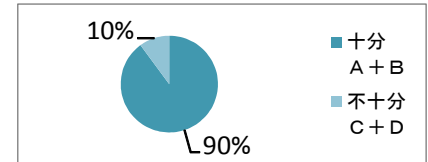
〔考察〕多くのご家庭で家庭学習ができる環境を作っていただいている。これからも継続して、学習できる環境作りをお願いしたい。

⑦子どもたちは挨拶ができていますか。



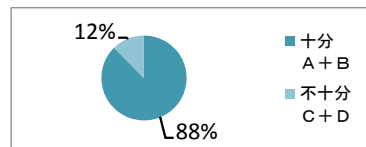
〔考察〕昨年度と比べると「十分」の値が増加している。「参観日で生徒が挨拶してくれた」というご意見を保護者からいただいた。さらに、学校全体で、挨拶の大切さを認識し、挨拶活動が充実したものになるよう、生徒会活動や部活動等を中心に取り組みたい。

⑧子どもたちは集団生活に必要な約束やきまりを守って生活していますか。



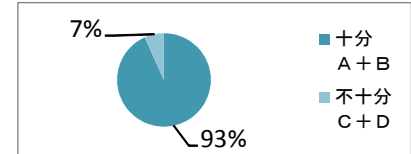
〔考察〕昨年度より十分の割合が増えている。大部分の生徒が約束や決まりを守って生活していると感じられる。引き続き、生活委員会を中心に活動を行い、生徒の生活向上意識を高めたい。

⑨子どもたちは校外活動や生徒会活動に積極的に参加しようとしていますか。



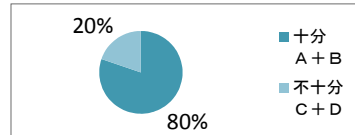
〔考察〕昨年度と比べて、「十分」の値が増加している。本校の生徒は、校外のボランティア活動や校内の生徒会活動に熱心に取り組んでいる。やや消極的な生徒も見られるが、目的をはっきりと理解させて、積極的に取り組めるよう支援したい。

⑩「健康教育（食育）」など、本校における特色ある教育活動の取組は適切ですか。



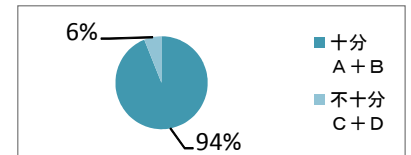
〔考察〕大部分のご家庭で、本校の特色ある健康教育（食育）に対して、有意義な取組であると認めていただいている。ご意見のなかで、活動にやや新鮮味がないという指摘も見られた。生徒の意見を聞きながら活動を見返し、これからも引き続き大切に取り組みたい。

⑪お子さんの心身の問題について、学校に気軽に相談できますか。



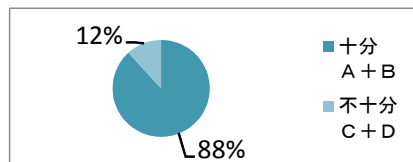
〔考察〕昨年度と比べて、「十分」の値が少し減少している。気軽に相談できる雰囲気作りや相談する機会や場を増やす取組を進めたい。

⑫本校は授業参観や地区懇談会などを通して、開かれた学校づくりを目指していますが取組は適切ですか。



〔考察〕授業参観や地区懇談会等において、保護者・地域の皆様にご協力をいただいた結果であると感じている。さらに開かれた学校づくりを進めたい。

⑬お子さんの安全に関する指導は十分になされていますか。



〔考察〕不十分であるというご意見がやや増加した。横断歩道の渡り方や自転車に乗る時のヘルメット着用など、今後も、安全指導を繰り返しおこないながら、自分の命を自分で守れる指導をしたい。